

1 摩擦電気

(北 哲)

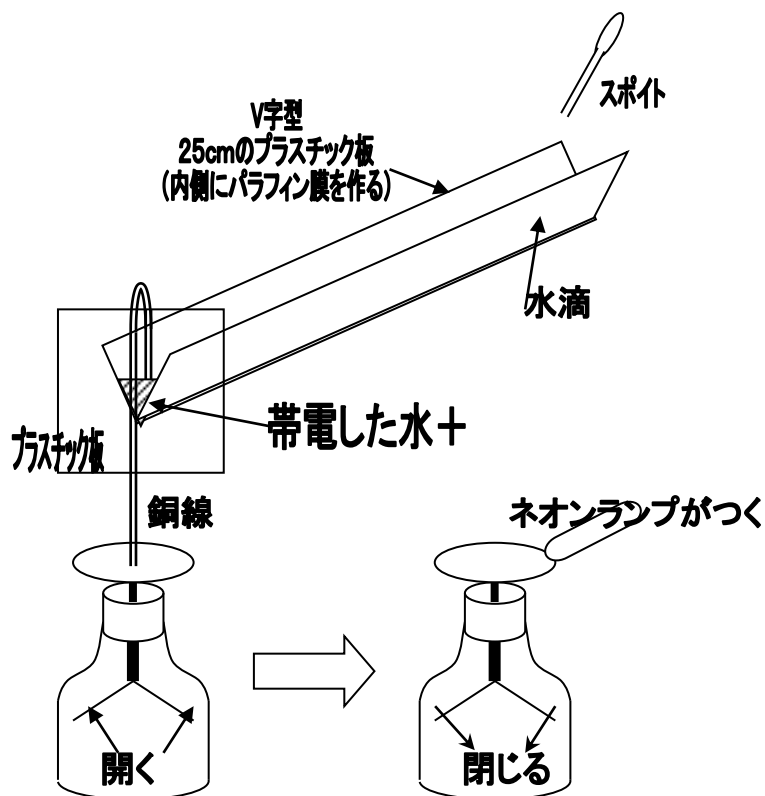
絶縁さえ完全にすれば，固体と固体をこすると摩擦電気が起こることはよく知られているが，液体と固体，気体と液体でも摩擦電気が起こる。

(1) 液体と固体の場合

この実験からわかること

- ・ 一般に水分があると摩擦電気が起こらないと考えられているが，帯電した電気を逃がさないように工夫すれば，水と固体の摩擦電気が起こる。
- ・ 落差のエネルギー（位置エネルギー）が電気エネルギーに変わり，さらに光のエネルギーに変わる。（エネルギーの変換）

注意 水は必ず一滴ずつバラバラに落とす。長く連なって一本の水流になってしまうと，せっかく帯電したものが逃げてしまう。



(2) 液体と気体の場合

